

中運交企第163号
令和7年3月27日

東海市地域公共交通会議
会長 稲吉 豊治 殿

中部運輸局長
(公印省略)

令和5・6年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL: 052-952-8006

自治体・協議会名	東海市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・地域公共交通計画を令和6年3月に策定し、計画に基づき公共交通会議や関係者との協議を行い、令和6年10月より新たな路線・ダイヤでの運行を開始したことを確認しました。
- ・近隣市との協働、他部署との連携した施策の実施を継続し、既存利用者の利便性向上、新規利用者の創出につなげたことを評価します。
- ・高齢者に対するスマホ教室におけるバスロケーションシステムに関する周知や小学校でのバス乗り方教室の実施等、継続的に市民の公共交通利用への理解を深めたことを確認しました。

期待する取組

- ・新たな路線・ダイヤでの運行開始後の利用状況等を収集し、必要に応じ対応を検討する等、今後も引き続き利便性向上に努められることを期待します。
- ・加木屋中ノ池駅南口駅前広場の整備等を踏まえ、交通事情や移動需要の変動への対応や交通結節点での乗り換え利便性の向上、利用方法に係る情報発信等、今後も引き続き利用しやすい公共交通の実現と利用促進に繋がる取り組みを継続されることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月25日

協議会名: 東海市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。) を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A ・ B ・ C 評価 【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり 実施されなかった場合には、理 由等記載】	A ・ B ・ C 評価 【計画に位置付けられた定量的 な目標・効果が達成されたかを、 目標ごとに記載。目標・効果が 達成できなかった場合には、理 由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記 載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地 域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果 を生活交通確保維持改善計画にどのように反映 させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載 すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその 旨記載
知多乗合株式会社	・東海市循環バス中ルート③ 太田川駅前を起終点とする 23.9km ・東海市循環バス中ルート④ 加木屋車庫前を起終点とする 23.7km ・東海市循環バス南ルート⑤ 加木屋車庫前を起終点とする 24.2km ・東海市循環バス南ルート⑥ 加木屋デイサービスセンターを 起終点とする 23.6km (中ルート③、④については車両減価 償却費等国庫補助金を活用)	・近隣市との協働、他部署と の連携した施策の実施を引き 続き行うことにより、利用 促進を継続した。 ・将来にわたる持続可能な 公共交通網の実現のため、 地域公共交通計画を3月に 策定し、ダイヤ・ルート再編 に向け、6月に地域公共交 通確保維持改善事業により 確保・維持する路線の変更 を行った。 ・ダイヤ・ルート再編に向け て、公共交通計画に基づくダ イヤ・ルート案を作成し、パ ブリックコメントによる意見 を参考に令和6年10月からの 新ダイヤ・ルートを決定し た。 ・ダイヤ・ルートが3路線から 5路線に変更することで、ダ イヤ・ルートが複雑化するた め、今までのA2版の時刻表 から路線ごとに分かれた見 やすいA4版のガイドブック (32頁)の作成を行い、全世 帯に配布した。また、手軽に 持ち運びが可能なポケッ ト版の時刻表の作成も行い、 市内の公共施設にて配布を 行い、利用者に対してわかり やすい情報提供を行った。	・近隣市との協働、他部署との連 携を継続して実施している。 ・利用者・未利用者の移動ニー ズに応えるよう、地域公共交 通計画に基づき、令和6年10月ダ イヤ・ルート再編に向け、近隣市 への乗り入れや、新たなバス停 の設置を決定し、これに伴うル ートの変更等を行った。	【中ルート】 循環バスの利用者数(会計年 度) 目標:14万2千人 実績:11万人 【南ルート】 循環バスの利用者数(会計年 度) 目標:14万人 実績:9万7千人 ・新型コロナウイルス感染症の 影響により利用者数が急激に減 少したことにより、コロナ禍以前 に設定した目標を達成できな かったものの、令和5年5月に新 型コロナウイルス感染症が2類 から5類に移行したことに伴い、 通勤通学や通院、買い物等の日 常生活での公共交通の利用者 が回復傾向にあると考えられ る。 ・昨年に引き続き、高齢者の外 出促進のため、スマホ教室でバ スロケーションシステムを題材と するとともに、新たな需要創出の ため、小学校でバスの乗り方教 室の開催や園児を対象とした絵 画作品をバス車内に掲示するこ とにより、利用促進を図ったこ とも増加の一因と考えられる。	・令和6年10月のダイヤ・ルート再編 後も、引き続きアンケート調査や乗降 調査の分析を進め、利用者の多様な ニーズに対応する中で、近隣市と協働 し、今後も相互間利用が可能なダイ ヤ・ルートを引き続き検討する。 ・都市計画道路養父森岡線(幹線道路) の令和7年3月末の開通や加木屋中ノ 池駅南口駅前広場の整備等の都市基 盤整備に合わせたダイヤ・ルートの再 編について検討する。 ・主要な交通拠点における利用や乗り 継ぎ時の待合環境の向上を図るため、 バス停留所に上屋やベンチ等の整備 を検討する。

令和6年度第3回会議にて承認を受け中部運輸支局に申請したもの(参考資料)

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年12月25日

協議会名：	東海市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	東海市は、名古屋駅と中部国際空港を連絡する名鉄常滑線と、太田川駅から知多半島の南端を連絡する名鉄河和線により南北の公共交通基幹軸が、隣接する大府市のJR共和駅・大府駅と太田川駅を連絡する独自路線バス(知多バス上野台線・横須賀線)により東西の公共交通基幹軸が形成されている。これらの公共交通基幹軸を補完し、市内の公共施設及び住宅地域を結ぶ地域内フィーダー交通として循環バスによる市内の生活交通ネットワークが形成されている。 令和6年3月16日には加木屋中ノ池駅(名古屋鉄道名鉄河和線・高横須賀駅～南加木屋駅間)の供用が開始され、令和7年3月末には、都市計画道路養父森岡線(幹線道路)が都市計画道路名古屋半田線まで開通することから、今後市内交通の流れが大きく変わることが予想される。 また、本市の中心的な交通の結節点である太田川駅周辺には、東海市芸術劇場を始めとした文化施設・大学・商業施設等が整備されたことにより、来訪者が増加しており、今後は、太田川駅西土地区画整理事業による新たな市街地の形成や令和9年以降のリニア中央新幹線の開通により、新たな人流が生まれることで、より一層の「にぎわい」創出が予想される。 地域内フィーダーである東海市循環バスは、令和4年度に実施した市民アンケートでは60%の市民からバス交通は必要であるとの回答が得られている。循環バスの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により急激に減少していたものの、令和4年度以降は徐々に回復傾向となっており、令和5年10月から令和6年9月中では、前年同時期と比較して約7,000人増加している。これは、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことに伴う、通勤通学や通院、買い物等の日常生活での公共交通の利用者の回復や継続して利用促進の取組みを行ったことが要因と考えられる。しかし、毎年実施している総合計画に関するアンケートにおける「鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しやすいと思う人の割合」は減少しており、鉄道駅から離れた地域や高齢者層で満足していない割合が高くなっており、現状の公共交通ではニーズに十分対応しているとは言い難い。 今後は、令和6年10月に実施したダイヤ・ルート再編後も利用者・未利用者の調査・分析を進めつつ、都市計画道路養父森岡線(幹線道路)の令和7年3月末の開通や加木屋中ノ池駅南口駅前広場の整備等の都市基盤整備に合わせたダイヤ・ルートの再編について検討する。また、主要な交通拠点における利用や乗り継ぎ時の待合環境の向上を図るため、バス停留所に上屋やベンチ等の整備を検討する。